

実施体制及び国内外のネットワーク

提案主体名	①NPO秋田CAPプロジェクト ②秋田大学 ③秋田県立大学 ④(株)三菱総合研究所 ⑤(株)博報堂
提案プロジェクト名	農村回帰と知識産業化で創出する農村環境未来都市
① 実施体制(構成主体と役割分担)	
※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
<p>約30の民間企業で構成するNPO秋田CAPプロジェクトを事務局とし、「プラチナカントリー構想協議会」を立ち上げ、各プロジェクトの全体を統括する。 大潟村がリーダーとなって全体調整を行い、各プロジェクトの運営管理はプラチナカントリー構想協議会が担う。秋田大学は、特に超高齢対応面(健康分野)で、秋田県立大学は環境面(再生可能エネルギー推進)や農業分野の検討でプロジェクト遂行を担当する。</p>	
② 実施体制(プロジェクトマネジメントのための具体的な方法論)	
※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
③ 国内外のネットワーク(国内外のベストプラクティスの相互交流のための具体的な方法論)	
※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
<p>プラチナ社会研究会、(株)三菱総合研究所、(株)博報堂 提案主体である大潟村、秋田CAPプロジェクト、秋田県立大学は、三菱総合研究所と博報堂が共同で立ち上げたプラチナシティプロジェクトに参加し、環境配慮型都市開発で成果を挙げているスウェーデンの”SymbioCity”を参考に、実在の都市を対象としてワークショップ等によるケーススタディを実施するなど、都市機能の連携に着目したまちの持続的運営の仕組みを中心に検討を深めている。</p>	
④ 国内外のネットワーク(国内外の都市・地域との連携を強化するための具体的な方法論)	
※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
<p>プラチナ社会研究会やプラチナシティプロジェクトに参加している自治体、企業とノウハウ共有等を図り、連携を深めていく予定である。</p>	

※別紙様式3は、可能な範囲内でご提案願います。